

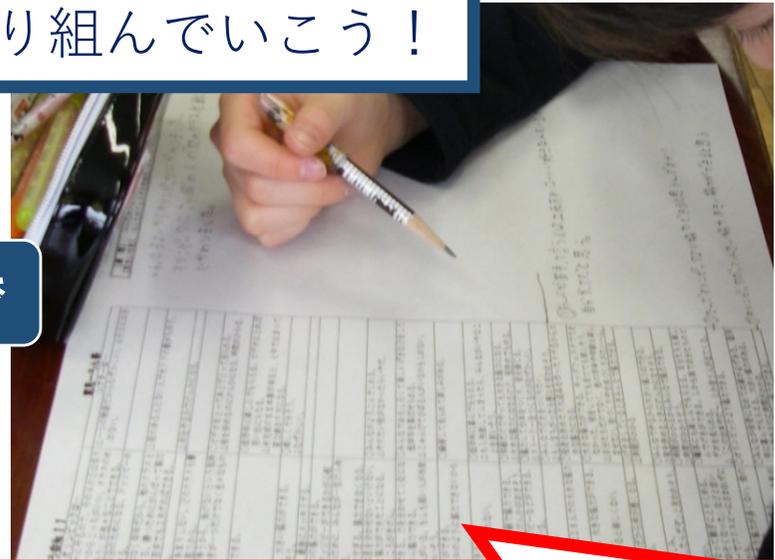
小学校中・高学年 特別活動 学級活動「あいさつ運動を盛り上げよう」

生活委員会や生活指導部からの「全校のあいさつをよくしていこう」という提案を受け、学級で「あいさつ運動」のやり方を決める話し合いや実践を通して、学級や自分自身のあいさつを振り返り、よりよく行動できるようにする内容です。（全3時間）

これまでのよさをいかしてアナログとデジタルを併用して取り組んでいこう！



これまで



ICT端末を使うと友達のカードをすぐに見ることができます。

これから

ICT端末の中で自分と友達の考えを比べてチェックできます。

使用アプリ：ロイロノートSchool

スライド作成の意図

～特別活動の資質・能力を育成する学級活動の授業改善を進めるために～

学級活動の話合い(学級会)では、次のことが大切です。

中学年では

理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見を受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。

高学年では

相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践すること。

学級会では、教師の意図的で計画的な指導の下で、学級などの集団や自分自身の課題を見いだし、解決するために話し合い、集団での合意形成や個人での意思決定を図ります。

本実践では、学級であいさつ運動に取り組むときのやり方を話し合う中で、学級の間人間関係の実態を明らかにし、望ましい人間関係を育むために大切なことに気付かせ、気持ちのよいあいさつをするための態度を育みます。

本スライドでは、ある学級があいさつ運動に取り組む状況を想定して、話し合い(学級会)の事前と事後の活動で時数に含まれない場面も合わせて紹介します。

★学級の実態に応じてアレンジしてご活用ください。★

小学校学習指導要領解説より 学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成**し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために**意思決定**して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、資質・能力を育成することを目指す。

資質・能力

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと共に生きていく力

築きたい人間関係

社会参画

よりよい集団や社会をつくろうとする力

つくりたい社会

自己実現

なりたい自分に向けてがんばる力

なりたい自分

学級活動(1)の話し合い活動での人間関係形成では…

「協力し助け合う」「尊重して協力し合う」「信頼して支え合う」など、学級や児童の目指す姿に関わることを議題で取り上げ、学級の実態を明らかにして、諸問題を解決するための課題が論点になる話し合いを行います。その話し合いのなかで、子どもに思考の変容、価値の高まりを自覚させます。

題材と出会う

朝の会など

問題発見

教師の
働き掛け

生活委員会からの「全校のあいさつをよりよくしよう」という提案を子どもに伝え、あいさつ運動を学級でしっかり取り組もうとする意欲をもたせる。

教師の願い

どの子も自分一人で自信をもってあいさつできるようにしたい

ICT：今までのあいさつの様子を写真で紹介する

今までのあいさつ運動を想起させ、よくできたこととできなかったこと、**全校と学級の今のあいさつの様子**を捉える。

ICT：ロイロのカード(アンケート)に書いて提出する

昨年度、みんなであいさつ運動に取り組んだときには、みんなのあいさつがよくなったと思う。だけど、私は、自信がなくてあまりよくできなかった。

今は、教室でのあいさつが少くなっていると思う。

題材と出会う

1 時間目

目的の共有

学級の実態を基に、あいさつ運動での学級と自分のめあてを決めさせ、一人一人にどのように取り組んでいくかという企画書(プランカード)を書かせ、その内容を学級で共有する。

ICT：ロイロのカード（プランカード）に書いて提出する

プランカードには、「活動への自分のめあて」「活動後の学級の姿」「活動の方法や内容」などを絵や図も使って書かせる。

- 「あいさつ運動のやり方でのアイデア」
- ※例えば、何人でやるのか？についての考えは、
- ・人を頼らずに一人でやる
 - ・一人だと心細いので二人でやる
 - ・生活班で協力してやる などが提案される。

例

イベントマイプランカード A

活動名 色んな種類の あいさつ

めあて きじつじゃなく、きょうかて、勝負をきめる。

やり方・進め方・ルールなど

・14人の2グループになって、チームであいさつをする。

・赤白ほつをかき、マとちうかいかい、とちうかか白にする。

1グループ目 2グループ目

①. リーダーをつかまえた後、(タッチ) タッチした方のチームの勝ち。

②. リーダーは一番(10分間で、いちばん足の速い人(その中から)多くつかまえた方の勝ち) 勝ち。

例

①. 勝ち

②. 負け

勝ち

負け

勝ち

負け

学級イベント用の
マイプランカード

議題をつくる

2 時間目

議題の選定

学級の実態やめあてを基に，担任が適切に指導しながら計画委員会などとの取り組み方を二つに絞る。

全校のあいさつをよくするには，「一人でやる」と「二人でやる」のどちらがいいのかを話し合うことに決める。

議題：あいさつ運動のやり方を決めよう

話合いの柱：あいさつ運動を「一人でやる」と「二人でやる」のどちらにするか。

議題の決定

ICT：ロイロのカード（意見カード） に書いて提出する

「一人」と「二人」のいいところや心配なところ，迷っていることをカードに書く。

自分の考えをもつ

考えを広げ深める

宿題等

問題意識を高める

**ICT：ロイロで集約された全員の意見カードを見ながら
自分の考えを再構築する**

情報の
収集・
精査

全員のカードを見ながら自分と友達の見
意見を比べて質問させたり，いい点や心配な点，
新たな気づきなどを自分のカードに書かせる。

※高学年では話合いの論点を想定させることもできる。

考えの
形成

- ・私と同じ意見の人がいるけど理由が違う。
- ・私と違う意見だったけれど，いいところも分かった。
- ・私がいいと思っても，心配なところもあるので迷う。

※この話合いでは「協力の仕方」も考える必要がありそうだ…

予想される発言

アウト
プット

ICT：ロイロで自分の意見カードに加筆する

考えを広げ深める

3 時間目

解決方法の話合い

全校のあいさつをよくするために，学級のあいさつ運動のめあてを確認し，話し合いを始める。

議題：あいさつ運動のやり方を決めよう
話し合いの柱：あいさつ運動を「一人でやる」と「二人でやる」のどちらにするか。

司会団への助言は，ICT端末でやり取りすることもできる。

ICT：加筆された意見カードをロイロで共有する

情報の
収集・
精査

考えの
形成

アウト
プット

私は〇〇に賛成（反対）です。理由は…
私はまだ迷っています。なぜなら…
私は□□から△△に変わりました。それは…

ICT：ロイロで意見カードを類別しておき，考えが変わった子どものカードを動かしたりカードの色を変えたりすることもできる。

考えを広げ深める

3 時間目

解決方法の話合い

学級でのあいさつの様子（実態）を振り返らせる。

ICT：データ集計した結果を紹介する

全校の前に自分たちのあいさつを考えさせるために、アンケート結果などを示して「ゆさぶり」をかける。

情報の
収集・
精査

考えの
形成

アウト
プット

ICT：話合い中にアンケートを採って、即時集計で紹介することもできる

| | ○ | × |
|---------------------------------|----|----|
| 5月のあいさつ運動で、全校のあいさつがよくなったと思いますか？ | 5 | 23 |
| 4の2のあいさつはいいと思いますか？ | 23 | 5 |
| おはよう10回言っていますか？ | 17 | 11 |
| 大きな声であいさつしていますか？ | 16 | 12 |
| 自分からおはようを言っていますか？ | 18 | 10 |

学習課題

「今の学級にとっては、どちらのやり方がいいのか」を問い、学級の実態を基に考え（発言）させる。

今の学級は「・・・」なので、私は○○がいいと思います。なぜなら、□□が△△になると思うからです。

話型の例

一人でやる

二人でやる

予想される発言

△はずかしい

◎二人ならはずかしくない

△自信がない

助け合ってできる

助け合いが必要なのか

◎安心してできる

◎一人でやる力が付く

△一緒の友達としゃべる

結論

- 今は一人一人が自信をもってあいさつができていないので、
- ・一人がいいです。なぜなら、あいさつは一人でもできるようにしなければいけないからです。
 - ・二人がいいです。今は安心してしっかりできるようにして少しずつ自信をつけていけるといいからです。

合意形成

一人でやるけれど、友達が近くにいると心強いので
1.5人（二人が互いに見える距離）でやりたい。

振り返る

帰りの会など

教師の視点

どの子も自分一人で自信をもってあいさつできるようになったか

全校と学級（自分）のあいさつ運動を評価する。

ICT：活動の様子を映像で紹介する

活動全体を振り返って作文を書く。

子どもの振り返りの視点

ICT：作文も
データで
保存して
蓄積する

活動と通して…

- ・自分のよさや友達のよさで見つけたこと
- ・自分が変わったことや学んだこと
- ・これからの学級生活で大切にしていきたいこと
- ・友達とのかかわり方で大切にしていきたいこと など

文例

この活動に取り組んで、あいさつで大切にすることが分かった。
〇〇さんが一人でもがんばってあいさつをしているのを見ていたら、私も勇気付けられて自分から進んであいさつすることができるようになった。これからも友達と励まし合っているいろいろなことに挑戦したい。